

切除不能/再発

CBDCA+PEM療法レジメン

切除不能/再発 非小細胞肺癌 カルボプラチン+ペメトレキセド療法レジメン

LC-08

総コース数

< 21 日間隔・ 1コース～ 6コース >

治療日		7日前	第1日目	第2日目	第3日目	第4～7日目	第8日目	第5～21日目	第22日目
治療内容		～							
検査	採血		○						○
診療	副作用の問診		○						○
	検査結果		○						○
治療中止基準	①WBC<3000 or Neu.<1500 ②血小板<100000 ③発熱・CRP上昇 ④PS 2以上								
プレメディケーション	調剤用パンビタン末 1g1×	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
	メコバラミン注射液500μg 2A 筋注(9週毎)	↓							
ポストメディケーション	デカドロン錠(0.5)8錠分1朝			↓	↓				
点滴	①生食100ml +アロカリス 235mg 1V +パロノセトロン 1V +デキサート 3.3mg 2A 点滴静注【30分】		↓						↓
	②生食 100ml +アリムタ 500mg/m2 点滴静注【10分】		↓						↓
	③生食 250ml +カルボプラチン AUC=5or6 点滴静注【1時間】		↓						↓
	④ 生食 50ml 点滴静注【全開】		↓						↓
ポストメディケーション	パンビタン末：1日1gを初回投与7日前～最終投与後22日目まで連日投与。								
	メコバラミン：1mg(2A)を初回投与7日前に筋注。その後最終投与後22日目まで9週ごとに1回投与。								

看護のPoint!!

アリムタの骨髄抑制の副作用軽減のため、パンビタン末(葉酸)毎日内服とメコバルミン2Aを9週ごとに筋注する。
デカドロンは吐き気予防の意味と、発疹予防のために、2・3日目に内服もする。
副作用として、骨髄抑制と皮疹と脱毛の可能性あり。